

# 認定施設認定委員会・研修プログラム作成部会

## 認定施設認定委員会

委員長：三鍋 俊春

委員：漆館 聡志、小川 令、垣淵 正男、亀井 讓、木股 敬裕、  
古川 洋志、力丸 英明

開催年月日：①平成 28 年 4 月 15 日：委員会発足初審査・理事会報告後の確認

②平成 29 年 2 月 10 日：2016 年度認定施設認定審査

- 主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の更新認定と新規認定審査  
2. 申請者のケアレスミスについて  
3. 形成外科学会データベースから NCD への移行の問題点について  
4. 学会発表における演者所属と演題内容の要件について  
5. 新研修制度の基幹・連携施設審査は当委員会が担当するかについて

- 活動の概要：1. 本年度の認定施設・教育関連施設の更新および各新規申請の審査結果は次の通りである。審査施設総数 528（以下数字は施設数を示す）
- i) 認定施設更新申請は 318 であり、うち 307 が最終（即時と書類再提出後を含む）更新認定された。12 は書類再提出、7 が教育関連施設への転換、4 は資格取り下げとなった。
  - ii) 教育関連施設更新申請は 171 であり、うち 150 が最終更新認定された。16 は書類再提出、8 施設は認定施設へ、11 施設は資格取り下げとなった。
  - iii) 新規認定施設申請は 15 であり、うち 14 が最終認定、2 が書類再提出とされた。新規教育関連施設最終申請は 31 であり、うち 30 が教育関連施設に、1 が教育関連美容施設として最終認定された。
2. 申請書類の不十分記載について  
書類再提出が約 30 件に及び、内容も申請者印無し、書類記入もれ、コピー忘れなどケアレスミスであった。申請文書類をよりわかりやすく小改定するとともに理事会報告により注意喚起した。
3. NCD への移行の問題点について  
2017 年度よりデータベースの NCD への移行が決定している。当委員会では、熱傷保存治療例やレーザー治療件数に懸念があがったが、亀井委員長代理の取りまとめにより NCD に合わせることになった。
4. 学会発表における演者所属や演題内容について  
形成外科に関する教育研究活動の報告における学会発表では筆頭演者が当該施設の所属であるのみでなく、演題内容が当該施設のものである必要を手引きに明示することになった。
5. 新研修プログラムでの施設認定作業について  
専門医機構による新規専門医認定（新制度）においても、当委員会が基幹施設・連携施設とともに更新・認定作業を次年度より行うことになった。当委員会委員 8 名は理事長の直接指名であるため、新制

## 認定施設認定委員会・研修プログラム作成部会

---

度作業用に旧制度と合わせて倍の「16名まで」(次年度は12名程度)のご指名を次期理事長に申し送ることに決定した。

### 研修プログラム作成部会

部会長：清川 兼輔

委員：王丸 陽光、多久嶋亮彦、田中 一郎、西野 健一、深水 秀一

開催年月日：なし

主な議題：なし

活動の概要：日本専門医機構より承認されたモデルプログラムを形成外科領域研修委員会に提出した後、何か問題があれば対応する予定であったが、特に何もなかったため委員会を開催する必要がなかった。今後も専門医機構の要請に応じて検討を行う予定である。